

第三十條 戰時又ハ事變ノ際ノ通級ハ前章ニ依ルノ外本章ニ依ル  
✓第三十一條 补充上必要アルトキハ第七條及第二十三條ノ實役停年ハ之ヲ  
半減スルコトヲ得

第三十二條 补充上必要アルトキハ第九條ノ規定ハ之ヲ適用セサルコトヲ  
得

第三十三條 削除

第三十四條 削除

第三十五條 第十九條ノ規定ハ召集セラレタル豫備役後備役武官ノ通級ニ  
付之ヲ準用ス退役將校同相當官ニシテ國民軍ニ編入セラレタル者ノ通級  
ニ付亦同シ

第三十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ第二條ノ規定ニ拘ラス其ノ際拔  
擢シテ特ニ之ヲ通級セシムコトヲ得

一 故前ニ在リテ殊勳ヲ奏シ首將之ヲ全軍ニ布告シタル者  
二 殊勳ヲ奏シタル者又ハ勳功顯著ナル者ニシテ傷痍又ハ疾病ノ爲危篤  
ニ陥リタル者

✓第三十七條 故前ノ軍隊ニ在リテ人員缺乏シ定規ニ依ルコト能ハサルトキ  
ハ前款様ノ規定ニ拘ラス特ニ通級セシムルノ機ヲ假スコトアル

第三十八條 戰地ニ臨ムノ首將ニハ特ニ通級セシムルノ機ヲ假スコトアル  
陸軍豫備役後備役武官通級令ハ之ヲ廢止ス

## 附則

本令ハ大正五年八月十五日ヨリ之ヲ施行ス但シ第九條ノ規定ハ大正九年十一  
月一日ヨリ之ヲ施行ス

陸軍豫備役後備役武官通級令ハ之ヲ廢止ス

附則 (昭和十一年勅令第百四十九號)  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ拔擢進級候補決定ノ者ノ  
進級ニ關シテハ次ノ拔擢進級候補決定ニ至  
ル迄仍從前ノ例ニ依ル

陸軍兵卒准則並用事項  
第一條 陸軍兵卒ノ通級ニ關シテハ別ニ規定アルモノヲ除クノ外本規則ニ  
依ル

第二條 陸軍兵卒ハ級ヲ遙ヒ通級セシム

第三條 現役ニ等卒ニシテ入替役概年六月ヲ超エ成績優秀ナル者ハ一等卒  
ニ通級セシム

第四條 中隊長ハ前條ニ該當スル者ヲ選抜シ順序ヲ經テ聯隊長ノ認可ヲ受  
ケ之ニ一等卒ヲ命ズルモノトス

第五條 現役ニ等卒ニシテ入替役概年六月ヲ超エ成績優秀ナル者ハ上等兵  
ニ通級セシム

第六條 中隊長ハ前條ニ該當スル者ノ候補者名簿ヲ審査シ列序ヲ定メ中隊ニ缺員アル毎  
長ニ上申スルモノトス

第七條 聯隊長ハ前條ニ該當スル者ノ候補者名簿ヲ審査シ列序ヲ定メ中隊ニ缺員アル毎  
上等兵ヲ命ズルモノトス

前項ノ缺員ハ同中隊ノ候補者ヲ以テ之ヲ補フモノトス

第八條 下士適任證書付與規則第三條乃至第六條ノ規定ニ依リ下士適任證  
書ヲ付與スベキ、ニ等卒ハ同證書付與ト同時ニ之ヲ上等兵ニ通級セシ  
ムルモノトス

## 内閣總理大臣

法制局長官

陸甲 九  
昭和十三年三月十八日

内閣書記官長



内閣書記官



内閣書記官



外務大臣



内務大臣



陸軍大臣



文部大臣



遞信大臣



農林大臣



厚生大臣



拓務大臣



大藏大臣



司法大臣



商工大臣



別紙陸軍大臣請議陸軍補充令中改正  
ニ關スル件

ヲ審査スルニ右ハ相當ノ儀ト思考ス依テ請議ノ通

閣議決定セラレ可然ト認ム

勅令案

呈案附箋ノ通

法制局

陸普第一三九一號

陸軍補充令中改正ニ關スル件

昭和二年三月十三日

陸軍大臣 杉山

内閣總理大臣 公爵近衛文麿殿

陸軍補充令中別紙勅令案ノ通改正致度理由書相添ヘ閣議ヲ請フ

勅義決定セラノ可否ト

朕陸軍補充令中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和三年三月二十五日

内閣總理大臣

陸軍大臣

勅令第百三十七號

陸軍補充令中左ノ通改正ス

第十五條第一項中「曹長」ノ下ニ「(下士官トシテノ實役停年四年以上ノ者ニ限ル)」ヲ加フ

第五十三條第一項第二號ヲ左ノ如ク改ム

二 兵トシテ概ネ四月以上在營（召集ニ依リ部隊ニ在ル場合ヲ含ム以下之ニ同ジ）シタル者

第五十四條第一項第二號ヲ左ノ如ク改ム

二 經理部幹部候補生 法律、經濟、商業、工業又ハ農業ニ關スル學科ヲ教授スル専門學校又ハ陸軍大臣ニ於テ之ト同等以上ト認ムル學校ヲ卒業シタル者但シ工業ニ關スル學科ヲ教授スル學校ヲ卒業シタル者ニ在リテハ建築、土木、應用化學、染色又ハ紡織ニ關スル學科ヲ修業シタル者、農業ニ關ス

付筆

朕陸軍補充令中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和三年三月十五日

内閣總理大臣

陸軍大臣

勅令第百三十七號

陸軍補充令中左ノ通改正ス

第十五條第一項中「曹長」ノ下ニ「(テ

第五十三條第一項第二號ヲ左ノ如ク改

二 兵トシテ概ネ四月以上在營(五

第五十四條第一項第二號ヲ左ノ如ク改

二 經理部幹部候補生 法律、

付筆

主仕官 微算済  
喜之佐 荒尾興功

臣ニ於テ之ト同等以上ト認ムル

タル者ニ在リテハ建築、土木、施

二

ル學科ヲ教授スル學校ヲ卒業シタル者ニ在リテハ農藝化學ニ關スル學科ヲ修業シタル者ニ限ル

同條ニ左ノ二項ヲ加フ

前項第一號又ハ第二號ノ規定ニ依ルノ外技術ニ從事スベキ各兵科幹部候補生ニ在リテハ工業學校ヲ卒業シタル者ヲ以テ、經理部幹部候補生ニ在リテハ商業學校ヲ卒業シタル者又ハ工業學校若ハ農業學校ヲ卒業シ其ノ在學中主トシテ建築、土木、應用化學、染色、紡織若ハ農產製造ニ關スル學科ヲ修業シタル者ヲ以テ各前項ノ規定ニ準ジ之ヲ補充スルコトヲ得

前項ニ規定スル學校ハ實業學校令ニ依ル學校ニシテ陸軍大臣ノ定ムルモノヲ謂フ

第五十七條ヲ削リ第五十八條ヲ第五十七條トス

第五十八條 現役第一次兵ヨリ採用セラレタル幹部候補生ノ修業期間ハ現役兵ノ入營期日ヨリ起算シ二年ニ滿ツル日迄トシ其ノ他ノ兵ヨリ採用セラレタル幹部候補生ノ修業期間ハ採用ノ日ヨリ起算シ概ネ一年八月トス

第五十九條 幹部候補生ニ對シテハ採用ノ後直ニ一等兵ノ階級ヲ與ヘ爾後概ネ二月ノ後上等兵ノ階級ニ進ム

甲種幹部候補生ニ對シテハ第五十七條ノ規定ニ依ル區分ノ後概ネ一月ノ後伍長ノ階級ニ、爾後概ネ三月ノ後軍曹ノ階級ニ進ム

乙種幹部候補生ニ對シテハ第五十七條ノ規定ニ依ル區分ノ後概ネ四月ノ後伍長ノ階級ニ進ム

第六十條 各兵科甲種幹部候補生（航空兵科ノ者及技術ニ從事スベキ者ヲ除ク）ハ教育總監之ヲ陸軍豫備士官學校、陸軍戰車學校、陸軍騎兵學校、陸軍野戰砲兵學校、陸軍重砲兵學校、陸軍防空學校、陸軍工兵學校、陸軍通信學校、陸軍自動車學校若ハ陸軍習志野學校ニ入學セシメ又ハ陸軍大臣ノ定ムル部隊ニ於テ概ネ十一月間教育ス

各部甲種幹部候補生ハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ之ヲ概ネ十一月間教育ス

甲種幹部候補生前二項ニ規定スル教育ノ課程ヲ終リタルトキハ曹長ノ階級ニ進メ當該兵科部ノ見習士官ヲ命ジ概ネ四月間所屬隊又ハ陸軍大臣ノ定ムル部隊ニ於テ其ノ本務ニ必要ナル勤務ヲ習得セシム

第六十一條 航空兵科ノ幹部候補生ハ採用後概ネ一月ノ後陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ之ヲ陸軍ノ學校ニ入學セシメ技術ニ從事スベキ幹部候補生（航空兵科ノ者ヲ除ク）ハ採用後直ニ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ之ヲ陸軍造兵廠ニ分遣シ概ネ一年間教育ス但シ航空兵科ノ乙種幹部候補生（飛行機操縦ニ從事スベキ者ヲ除ク）ニ對スル教育期間ハ概ネ六月トス

前項ノ規定ニ依ル教育ノ課程ヲ終リタル幹部候補生ハ陸軍大臣之ヲ便宜ノ軍隊ニ配當ス

三

前項ノ規定ニ依リ軍隊ニ配當セラレタル甲種幹部候補生ハ幹部候補生ニ採用後概ネ一年三月ノ後曹長ノ階級ニ進メ當該兵科ノ見習士官ヲ命ジ其ノ本務ニ必要ナル勤務ヲ習得セシム

第六十二條 幹部候補生ハ前二條ノ規定ニ依ルノ外陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ軍隊、學校又ハ官衙ニ於テ其ノ本務ニ必要ナル勤務及軍事學ヲ修得セシム

第六十二條ノ二 見習士官ヲ命ゼラレタル甲種幹部候補生ヲ將校ト爲スノ可否ハ所屬隊ノ將校ヲ以テ組織スル將校銓衡會議ニ於テ之ヲ決ス但シ其ノ修業期間ノ終迄他ノ部隊ニ分遣セラレタル者ニ付テハ當該部隊ノ將校ヲ以テ組織スル將校銓衡會議ニ於テ之ヲ決スルモノトス

前項ノ會議ニ於テ可決セラレタル者ハ當該兵科部ノ少尉（衛生部幹部候補生ニ在リテハ其ノ有スル免許證ノ種類ニ從ヒ軍醫少尉又ハ藥劑少尉トシ獸醫部幹部候補生ニ在リテハ獸醫少尉トス）ニ任ゼラルルノ資格ヲ具フルモノトス

第六十二條ノ三 乙種幹部候補生ハ幹部候補生ニ採用後概ネ一年三月後陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ試験ヲ行ヒ其ノ成績ト平素ニ於ケル勤務ノ成績トヲ參酌シ下士官タルノ適否ヲ決定ス

前項ニ規定スル成績優秀ナル者ハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ之ヲ軍曹ノ階級ニ進ム

第六十二條ノ四 削除

第六十二條ノ六第一項中「第五十八條」ヲ「第五十七條」ニ、同條第二項中「軍曹」ヲ「曹長、軍曹」ニ、「之ヲ上等兵」ヲ「本人ノ成績ニ依リ之ヲ軍曹、伍長又ハ上等兵」ニ改ム

第六十二條ノ七第一項第三號ヲ左ノ如ク改ム

三 第五十三條第一項第三號ノ規定ニ該當スル者

第六十二條ノ十 操縱候補生ハ入營後概ネ一月ノ後陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ之ヲ熊谷陸軍飛行學校ニ入學セシメ概ネ六月間教育ス

操縱候補生ハ前項ノ規定ニ依ルノ外陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ之ヲ熊谷陸軍飛行學校ニ必要ナル勤務及軍事學ヲ修得セシム  
第六十二條ノ十一 見習士官ヲ命ゼラレタル操縱候補生ヲ將校ト爲スノ可否ハ所屬隊ノ將校ヲ以テ組織スル將校銓衡會議ニ於テ之ヲ決ス

前項ノ會議ニ於テ可決セラレタル者ハ航空兵科ノ少尉ニ任ゼラルルノ資格ヲ具フルモノトス  
第六十二條ノ十二 第五十五條、第五十六條及第六十二條ノ五ノ規定ハ操縱候補生ニ之ヲ準用ス  
同條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第六十二條ノ十三 第五十三條第一項第二號、第五十七條第一項、第五十八條、第五十九條、第六一

前項ノ規定ニ依リ軍隊ニ配當セラレタル甲種幹部候補生ハ幹部候補生ニ採用後概ネ一年三月ノ後曹長ノ階級ニ進メ當該兵科ノ見習士官ヲ命ジ其ノ本務ニ必要ナル勤務ヲ習得セシム

第六十二條 幹部候補生ハ前二條ノ規定ニ依ルノ外陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ軍隊、學校又ハ官衙ニ於テ其ノ本務ニ必要ナル勤務及軍事學ヲ修得セシム

第六十二條ノ二 見習士官ヲ命ゼラレタル甲種幹部候補生ヲ將校ト爲スノ可否ハ所屬隊ノ將校ヲ以テ組織スル將校銓衡會議ニ於テ之ヲ決ス但シ其ノ修業期間ノ終迄他ノ部隊ニ分遣セラレタル者ニ付テハ當該部隊ノ將校ヲ以テ組織スル將校銓衡會議ニ於テ之ヲ決スルモノトス

前項ノ會議ニ於テ可決セラレタル者ハ當該兵科部ノ少尉（衛生部幹部候補生ニ在リテハ其ノ有スル免許證ノ種類ニ從ヒ軍醫少尉又ハ藥劑少尉トシ獸醫部幹部候補生ニ在リテハ獸醫少尉トス）ニ任ゼラルルノ資格ヲ具フルモノトス

第六十二條ノ三 乙種幹部候補生ハ幹部候補生ニ採用後概ネ一年三月後陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ試験ヲ行ヒ其ノ成績ト平素ニ於ケル勤務ノ成績トヲ參酌シ下士官タルノ適否ヲ決定ス

前項ニ規定スル成績優秀ナル者ハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ之ヲ軍曹ノ階級ニ進ム

#### 第六十二條ノ四 削除

第六十二條ノ六第一項中「第五十八條」ヲ「第五十七條」ニ、同條第二項中「軍曹」ヲ「曹長、軍曹」ニ、「之ヲ上等兵」ヲ「本人ノ成績ニ依リ之ヲ軍曹、伍長又ハ上等兵」ニ改ム

#### 第六十二條ノ七第一項第三號ヲ左ノ如ク改ム

三 第五十三條第一項第三號ノ規定ニ該當スル者

第六十二條ノ十 操縱候補生ハ入營後概ネ一月ノ後陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ之ヲ熊谷陸軍飛行學校ニ入學セシメ概ネ六月間教育ス

操縱候補生ハ前項ノ規定ニ依ルノ外陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ之ヲ熊谷陸軍飛行學校ニ入學セシメ概ネ六月間教育ス

第六十二條ノ十一 見習士官ヲ命ゼラレタル操縱候補生ヲ將校ト爲スノ可否ハ所屬隊ノ將校ヲ以テ組織スル將校銓衡會議ニ於テ之ヲ決ス

前項ノ會議ニ於テ可決セラレタル者ハ航空兵科ノ少尉ニ任ゼラルルノ資格ヲ具フルモノトス

第六十二條ノ十二 第五十五條、第五十六條及第六十二條ノ五ノ規定ハ操縱候補生ニ之ヲ準用ス  
同條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第六十二條ノ十三 第五十三條第一項第二號、第五十七條第一項、第五十八條、第五十九條、第六十一

六

條第一項及第三項、第六十二條ノ三第一項並ニ第六十二條ノ八乃至第六十二條ノ十第一項ニ規定スル期間ハ戰時又ハ事變ノ際其ノ他必要アル場合ニ於テハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ之ヲ短縮スルコトヲ得

第六十五條第一項中「現役ノ第一年次兵(輜重兵特務兵ヲ除ク)」ヲ「兵」ニ改ム

第七十一條及第七十三條第一項中「現役兵(輜重兵特務兵ヲ除ク)」ヲ「兵」ニ改ム

第七十五條第一項中「現役ノ衛生兵」ヲ「衛生部ノ兵」ニ改ム

第八十條第一項第二號中「甲種幹部候補生」ノ下ニ「又ハ操縱候補生」ヲ加ヘ「終末試験ニ合格セザル者及」ヲ削リ同項第六號中「豫備役ニ在ル幹部候補生」ヲ「銓衡會議ニ於テ可決セラレタル甲種幹部候補生又ハ操縱候補生」ニ改メ同項第七號ヲ削ル

第八十一條第一項中「、第二號又ハ第七號」ヲ「又ハ第二號」ニ改ム

同條第二項中「第七號」ヲ「第二號又ハ第六號」ニ改メ「軍曹トス」ノ下ニ「同條第一項第一號ニ該當スル者ニシ、テ退營ノ際軍曹ノ階級ヲ有スル者ニ付亦同ジ」ヲ加フ

第八十六條第一項中「現役兵(輜重兵特務兵ヲ除ク)」ヲ「兵」ニ改ム

第九十四條第一項第二號ヲ左ノ如ク改ム

## 二 削除

第九十八條及第一百條中「(輜重兵特務兵ヲ除ク)」ヲ削ル

第一百條 砲、工兵技術下士官ハ左ニ掲タル者ヲ以テ之ヲ補充スルコトヲ得

一 陸軍工科學校生徒ニシテ概ネ一年以上同校ノ課程ヲ修業シタル者

二 陸軍工機兵ニシテ概ネ一年六月以上在營シタル者

三 兵器器材等ニ關スル技能ヲ有スル者ニシテ砲、工兵技術下士官ニ必要ナル學術ヲ習得シタル者

前項第三號ノ規定ニ依ル補充ノ方法及時期ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第一百四條中「第二號又ハ」ヲ削ル

第一百六條中「(幹部候補生ヲ除ク)」ヲ削リ「操縱候補生」ヲ「幹部候補生及操縱候補生」ニ改ム

第一百二十條中「航空兵團長」ヲ「航空兵團司令官」ニ改ム

第一百三十三條中「衛生二等兵」ヲ「衛生一、二等兵」ニ、「各兵科二等兵」ヲ「各兵科一、二等兵」ニ改メ「概ネ二月在營シタル」ヲ削ル

昭和八年勅令第七十一號附則中第三條及第四條ヲ削除シ第六條ヲ削ル

昭和十二年勅令第六百五十四號附則第六條中「現役兵(輜重兵特務兵ヲ除ク)」ヲ「兵」ニ改ム

## 附則

第一條 本令ハ昭和十三年四月十日ヨリ之ヲ施行ス

第二條 従前ノ規定ニ依リ幹部候補生ニ採用セラレタル者及本令施行ノ際現ニ一年志願兵トシテ採用セラレ入營中又ラレ入營中又ハ入營延期中ノ者ノ取扱ハ仍從前ノ例ニ依ル但シ一年志願兵トシテ採用セラレ入營中又

ハ入營延期中ノ者ニシテ本令ニ依ル幹部候補生ヲ志願スルモノハ此ノ限ニ在ラズ

第三條 當分ノ内陸軍大臣ノ指定シタル學校ヲ卒業シタル者（高等學校高等科、大學令ニ依ル大學豫科又ハ陸軍大臣ニ於テ之ト同等以上ト認メタル學校ニ在リテハ其ノ第一學年ノ課程ヲ修了シタル者ヲ含ム）ハ第五十三條第一項第三號ノ規定ニ拘ラズ特ニ之ヲ幹部候補生ニ採用スルコトヲ得

第四條 前條ノ規定ニ依リ幹部候補生ニ採用セラレタル者ハ豫備役將校ニ任ゼラルル前本令ノ規定ニ依ル修業期間ニ引續キ三月間教育ノ爲之ヲ召集シ銓衡會議ハ當該召集ノ解除迄ニ於テ之ヲ行フ

前項ノ會議ニ於テ可決セラレタル者ハ第六十二條ノ二ノ例ニ依リ當該兵科部ノ將校ニ任ゼラルルノ資格ヲ具フルモノトス

第五條 當分ノ内甲種幹部候補生ニ對スル陸軍豫備士官學校ニ於ケル教育ハ之ヲ陸軍教導學校、陸軍步兵學校、又ハ陸軍大臣ノ定ムル輜重兵聯隊ニ於テ行フコトヲ得

第六條 昭和十三年ニ於テ採用スベキ甲種幹部候補生ニ對スル第六十條第一項及第二項ニ前條ノ規定ニ

依ル教育期間ハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ之ヲ概ネ七月迄短縮スルコトヲ得

前項ノ甲種幹部候補生ニ對シテハ第六十一條第三項ノ規定ヲ適用ス

第七條 當分ノ内現役下士官（憲兵科下士官ヲ除ク）ハ左ニ掲グル者ヲ以テ之ヲ補充スルコトヲ得

一 概ネ二年在營シタル兵ニシテ現役下士官ヲ志願シ現役下士官タルニ適スル者

二 豫備役又ハ後備役ノ軍曹又ハ伍長ニシテ現役ヲ志願スル者

三 概ネ一年在營シタル幹部候補生ニシテ現役下士官タルニ適スル者

前項ノ規定ニ依リ現役下士官ニ補充セラルベキ者ハ任官ノ年（第二號ノ規定ニ該當スル者ニ在リテハ

前項ノ規定ニ依リ補充セラル年）ノ十二月一日ニ於ケル年齢三十年未満ノ者トス

第一項第一號及第三號ニ規定スル在營期間ハ戰時又ハ事變ノ際其ノ他必要アル場合ニ於テハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ之ヲ短縮スルコトヲ得

理由

幹部候補生ノ能力向上ノ爲之ニ學校教育ヲ施シ且二年修業制ト爲シ又下士官ノ補充源ヲ擴張スル等改正  
ノ要アルニ由ル

参考

●陸軍補充令

昭和二年十一月三十日  
勅令第三百三十一號

朕陸軍補充令改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム(總理、陸軍)  
大臣副署

陸軍補充令

第十五條 各兵科少尉候補者ハ年齢三十八年未満ノ現役ノ各兵科准尉、同曹長及飛行機操縦術ヲ習得シタル軍曹(實役停年二年以上ノ者ニ限ル)中身體強健、人格成績共ニ優秀且家庭良好ナル者ニシテ聯隊長ニ於テ選拔シタル者ノ中ヨリ試験ノ上陸軍大臣之ヲ定ム

ム

前項ニ規定スル年齢及實役停年ノ計算並ニ試験ノ方法ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第五十三條 各兵科幹部候補生(技術ニ從事スベキ者ヲ除ク)ハ左ニ掲ゲル資格ヲ具ヘ幹部候補生タルコトヲ志願スル者ノ中人格成績共ニ優秀且家庭良好ニシテ陸軍大臣ノ定ムル銘衡ニ合格シタル者ヲ以テ之ニ充ツ

一 賛備役及後備役ノ將校又ハ下士官タルノ希望ヲ有スル者

二 現役兵トシテ概ネ三月以上在營シタル者

三 左ノ各號ノ一二該當スル者但シ(イ)乃至(ハ)ノ各號ノ一二該當スル者ニ在リテハ當該學校ノ配屬將校(陸軍現役將校學校配屬令又ハ大正十四年勅令第二百四十六號ニ依リ配屬シタル將校ヲ謂フ以下之ニ同ジ)ノ行フ教練ノ検定ニ合格シタル者ナルコトヲ要ス

(イ) 配屬將校ヲ附シタル學校(研究科、選科等ノ別科ヲ除ク)ヲ卒業シタル者

(ロ) 配屬將校ヲ附シタル高等學校高等科又ハ大學令ニ依ル大學豫科ノ第一學年ノ課程ヲ修了シタル者

(ハ) 配屬將校ヲ附シタル學校ニシテ陸軍大臣ニ於テ高等學校高等科ト同等以上ト認ムルモノノ第一學年ノ課程ヲ修了シタル者  
 (ニ) 陸軍士官學校豫科生徒若ハ陸軍經理學校豫科生徒ノ第一學年ノ課程又ハ海軍兵學校、海軍機關學校若ハ海軍經理學校ノ第一學年ノ課程ヲ修了シタル者  
 (ホ) 文部省直轄商船專門學校ノ席上課程ヲ修了シタル者  
 教練ノ検定ニ關スル事項ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第五十四條 技術ニ從事スベキ各兵科幹部候補生及各部幹部候補生ハ前條ニ規定スル資格ノ外尙左ニ掲タル資格ヲ具ヘ幹部候補生タルコトヲ志願スル者ノ中人格成績共ニ優秀且家庭良好ニシテ陸軍大臣ノ定ムル銓衡ニ合格シタル者ヲ以テ之ニ充ツ

一 技術ニ從事スベキ各兵科幹部候補生 大學令ニ依ル大學ノ工學部若ハ理學部ニ於テ工學若ハ理學ヲ修メ學士稱スルコトヲ得ル者又ハ主トシテ工業ニ關スル學科ヲ教授スル專門學校（研究科、選科等ノ別科ヲ除ク）ヲ卒業シタル者  
 二 經理部幹部候補生 法律、經濟又ハ商業ニ關スル學科ヲ教授スル専門學校又ハ陸軍大臣ニ於テ之ト同等以上ト認ムル學校ヲ卒業シタル者  
 三 衛生部幹部候補生 藥師免許證ヲ有シ若ハ之ヲ受クベキ資格アル者又ハ藥劑師免許證ヲ有シ若ハ之ヲ受クベキ資格アル者  
 四 歐醫部幹部候補生 獣醫師免許證ヲ有シ又ハ之ヲ受クベキ資格アル者  
 五 幹部候補生ハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ軍隊、學校又ハ官衙得ザル者ハ幹部候補生タルコトヲ得ズ

第五十六條 幹部候補生ノ人員ハ各兵科部毎ニ陸軍大臣毎年之ヲ定ム

第五十七條 幹部候補生ハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ軍隊、學校又ハ官衙ニ於テ其ノ本務ニ必要ナル勤務及軍事學ヲ習得セシム

第五十九條 幹部候補生ノ修業期間ハ現役兵ノ入替期日より起算シ一年ニ満ツル日迄トス

第六十條 削除

第六十一條 幹部候補生ニ對シテハ採用後概ね三月ノ後左ノ如ク區分ス

一 幹部候補生ニ對シテハ直ニ上等兵ノ階級ヲ與フ

二 幹部候補生ニ對シテハ直ニ上等兵ノ階級ニ、爾後概ね二月ノ後伍長ノ階級ニ、更ニ概ね二月ノ後軍曹ノ階級ニ進ム

乙種幹部候補生ニ對シテハ直ニ上等兵ノ階級ニ進ム

第六十二條 甲種幹部候補生ニ對シテハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ修業期間ノ終ニ於テ終末試驗ヲ行ヒ其ノ成績ト平素ニ於ケル勤務ノ成績トヲ參照シ合格不格ヲ決定ス

疾患其ノ他避ケカラザル事故ニ因リ前項ノ終末試驗ヲ受クルコトヲ得ザル者ハ逐次次年ニ於テ之ヲ受クルコトヲ得

第六十二條ノ二 前條ノ終末試驗ニ合格シタル者ヲ將校ト爲スノ可否ハ所屬隊ノ將校ヲ以テ組織スル將校銓衡會議ニ於テ之ヲ決ス

第六十二條ノ三 前條ノ銓衡會議ニ於テ可決セラレタル者ハ陸軍大臣ノ定期ニ合格シタル者ニ在リテハ概ね一月

（イ） 大學令ニ依ル大學ノ學部若ハ豫科又ハ高等學校

（ロ） 專門學校、高等師範學校又ハ陸軍大臣ニ於テ之ト同等以上ト認ムル學校

（ハ） 中學校卒業ヲ入學程度トスル修業年限二年以上ノ學校

二 陸軍士官學校畢業生徒若ハ陸軍機械學校畢業生徒ノ課程ヲ卒業シタ  
ル者、海軍兵學校、海軍機關學校若ハ海軍經理學校ヲ卒業シタル者又  
ハ文部省直轄商船専門學校ノ軍事學練習ヲ了リタル者ニ在リテハ概不  
一月

三 前二號ニ掲タル以外ノ者ニ在リテハ概不二月

疾病其ノ他避ケカラザル事故ニ因リ前項ノ召集ニ應シ得ザル者ハ逐次

次年ニ於テ之ヲ召集ス

前項ノ規定ニ依リ召集セラレタル者ハ當該兵科部ノ豫備役見習士官ヲ  
命ズ

前項ニ掲タル者ノ身分取扱ハ現役見習士官ニ準ズ

第六十二條ノ四 前條ノ將校ノ勤務ヲ了リタル者ハ當該兵科部ノ少尉(衛  
生部幹部候補生ニ在リテハ其ノ有スル免許證ノ種類ニ從ヒ軍醫少尉又ハ  
藥劑少尉トシ臘醫部幹部候補生ニ在リテハ臘醫少尉トス)ニ任セラル  
ノ資格ヲ具フルモノトス

第六十二條ノ六 第五十八條ノ規定ニ依リ區分ヲ爲シタル後ニ於テモ陸軍  
大臣ノ定ムル所ニ依リ本人ノ成績ヲ參照シ甲種幹部候補生ヲ乙種幹部候  
補生ト爲シ乙種幹部候補生ヲ甲種幹部候補生ト爲スコトアルベシ  
前項ノ規定ニ依リ甲種幹部候補生ヲ乙種幹部候補生ト爲シタル場合ニ於  
テ現ニ軍曹又ハ伍長ノ階級ヲ有スル者ハ之上等兵ノ資及ト爲ス

第六十二條ノ七 操縱候補生ハ左ニ掲タル資格ヲ具ヘ操縱候補生タルコト  
ヲ志願スル者ノ中人格成績共ニ優秀且家庭良好ニシテ陸軍大臣ノ定ムル  
銓衡ニ合格シタル者ヲ以テ之ニ充ツ

一 飛行機操縦ニ從事スベキ飛行機及後備役ノ將校又ハ下士官タルノ希  
望ヲ有スル者

二 派遣將校(昭和十年勅令第二百六十七號ニ依リ派遣シタル將校ヲ謂フ)  
ブ以下之ニ同ジ)ノ行フ飛行機操縦ノ検定ニ合格シタル者又ハ飛行機

### 操縦士免狀ヲ有スル者

三 第六十二條ノ三第一項第一號ニ掲タル學校ヲ卒業シ且當該學校ニ於  
テ配屬將校ノ行フ教練ノ検定(第五十三條第一項第三號ノ檢定ヲ謂フ)  
ニ合格シタル者

四 年齢二十八年未滿ノ者

前項第四號ニ規定スル年齢ハ採用スル年ノ三月三十一日ニ於ケル年齢ト  
飛行機操縦ノ検定ニ關スル事項ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第五十二條ノ八 操縱候補生ノ修業期間ハ其ノ入營期日ヨリ起算シ一年ニ  
満ツル日迄トス

第六十二條ノ九 操縱候補生ニ對シテハ入營後直ニ一等兵ノ階級ヲ與ヘ概  
木三月ノ後上等兵ノ階級ニ進メ爾後概ニ二月ノ後伍長ノ階級ニ、更ニ概  
ニ二月ノ後軍曹ノ階級ニ、更ニ概ニ二月ノ後曹長ノ階級ニ進メ同時ニ見  
習士官ヲ命ズ

第六十二條ノ十 見習士官ヲ命セラレタル操縱候補生ヲ將校ト爲スノ可否  
ハ所屬隊ノ將校ヲ以テ組織スル將校銓衡會議ニ於テ之ヲ決ス  
前項ノ銓衡會議ニ於テ可決セラレタル者ハ航空兵科ノ少尉ニ任セラル  
ノ資格ヲ具フルモノトス

第六十二條ノ十一 第五十五條乃至第五十七條及第六十二條ノ五ノ規定ハ  
操縱候補生ニ之ヲ準用ス

第六十二條ノ十二 第五十三條第一項第二號、第五十八條第一項、第五十九條、第六十一條第二項、第六十二條ノ三第一項第一號乃至第三號、第六十二條ノ八及第六十二條ノ九ニ規定スル期間ハ戰時又ハ事變ノ際其ノ  
他必要アル場合ニ於テハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ之ヲ短縮スルコトヲ  
得

### 第三章 現役下士官ノ補充

第六十五條 前條ノ下士官候補者ハ當該兵科ノ現役ノ第一年次兵（輜重兵特務兵ヲ除ク）ニシテ概ニ三月以上在營シ下士官ヲ志願シタル者ノ中ヨリ銃衛ノ上之ヲ採用ス  
付テハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依ル  
第一項ニ規定スル在營ノ期間ハ戰時又ハ事變ノ際其ノ他必要アル場合ニ於テハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ之ヲ短縮スルコトヲ得

第七十一條 <sup>（左計下士官）</sup>書主候補者ハ歩、騎、砲、工、航空、輜重兵科ノ現役兵（輜重兵特務兵ヲ除ク）ニシテ概ニ一年以上在營シ計手ヲ志願シタル者ノ中ヨリ銃衛ノ上之ヲ採用ス

第七十五條 前條第一號ノ衛生下士官候補者又ハ療工下士官候補者ハ現役ノ衛生兵ニシテ概ニ八月以上在營シ衛生部下士官ヲ志願シタル者ノ中ヨリ銃衛ノ上之ヲ採用ス  
陸軍大臣ハ前項ノ衛生下士官候補者及療工下士官候補者ハ陸軍病院又ハ陸軍被服本廠ニ分遣ス

一 軍衛生材料廠ニ分遣ス  
二 甲種幹部候補生ニシテ終末試験ニ合格セザル者及銃衛會議ニ於テ可決セラレザリシ者ノ中下士官タルニ適スト認メタル者

三 下士官適任證書ヲ有スル者

四 派遣將校ノ行フ飛行機操縦ノ検定（第六十二條ノ七第一項第二號ノ検定ヲ謂フ）ニ合格シ又ハ飛行機操縦士免狀ヲ有スル年齢二十五年未滿ノ者ニシテ豫備役及後備役ノ航空兵科下士官ヲ志願シ下士官タルニ適スト認メタル者

第五條 前條第一號ノ陸軍被服本廠下士官候補者ハ歩、騎、砲、工、航空、輜重兵科ノ現役兵（輜重兵特務兵ヲ除ク）ニシテ概ニ八月以上在營シ、其下士官ヲ志願シタル者ノ中ヨリ銃衛ノ上之ヲ採用ス

第六條 前條第一號ノ陸軍被服本廠下士官候補者ヲ陸軍被服本廠ニ分遣ス

- 五豫備役又ハ後備兵役ノ各軍種上等兵又ノ之ト同等級ノ者ニシテ平時部隊ニ於テ勤務シ其ノ成績優秀ナル者  
六豫備役ニ在ル幹部候補生ニシテ豫備役士官ニ任セラレザリシ者ノ中下士官タルニ適スト認メタル者  
七操縦候補生ニシテ銃衛會議ニ於テ可決セラレザリシ者ノ中下士官タルニ適スト認メタル者  
前項第三號ニ該當スル者ニシテ其ノ有スル下士官適任證書ノ種類ニ依リ兵科部ノ變更ヲ爲スヲ要スル者ハ之ヲ當該兵科部ニ轉セシム  
第一項第四號ニ規定スル年齡ハ任官ノ年ノ十二月一日ニ於ケル年齡トス  
第八十一条 前條第一項第一號、第二號又ハ第七號ニ該當スル者ヲ以テ豫備役下士官ヲ補充スルハ退督ノ際之ヲ行フモノトス  
前條第一項第七號ニ該當スル者ヲ以テ豫備役下士官ヲ補充スル場合ニ於ケル初任ノ官等ハ軍曹トス  
第八十六條 憲兵敎習兵ハ歩、騎、砲、工、航空、輜重兵科ノ現役兵（輜重兵特務兵ヲ除ク）中概ニ九月以上在營シ品行方正、志操確實ナル者ニシテ憲兵ヲ志願シタル者ノ中ヨリ銃衛ノ上之ヲ採用ス  
前項ニ規定スル在營ノ期間ハ戰時又ハ事變ノ際其ノ他必要アル場合ニ於テハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ之ヲ短縮スルコトヲ得

**第六十五條** 前條ノ下士官候補者ハ當該兵科ノ現役ノ第一年次兵（輜重兵特務兵ヲ除ク）ニシテ概ニ三月以上在營シ下士官ヲ志願シタル者ノ中ヨリ銓衡ノ上之ヲ採用ス。

第一項ニ規定スル在營ノ期間ハ戰時又ハ事變ノ際其ノ他必要アル場合ニ  
於テハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ之ヲ短縮スルコトゾ得

第七十一条 計手候補者ハ歩、騎、砲、工、航空、輜重兵科ノ現役兵（輜重兵特務兵ヲ除ク）ニシテ概々一年以上在營シ計手ヲ志願シタル者ノ中

ヨリ銓衡ノ上之ヲ採用ス

六十二條ノ四 前條ノ將校ノ勤務ヲ了リタル者ハ當該兵科部ノ少尉（衛生部幹部矣浦主ニ在リテヘ其ノ有スレ免許登ノ重

## 第四章豫備役及後備役下士官ノ補充

一 乙種幹部候補生ニシテ其ノ修業ヲ了リタル者

二 甲種幹部候補生ニシテ終末試験ニ合格セサル  
決セラレザリシ者ノ中下士官タルニ適スト認メ  
三 下士官適任證書ヲ有スル者

四 派遣將校ノ行フ飛行機操縦ノ検定（第六十二條ノ七第一項第二號ノ  
検定ヲ謂フ）ニ合格シ又ハ飛行機操縦士免狀ヲ有スル年齢二十五年未  
満ノ者ニシテ豫備役及後備役ノ航空兵科下士官ヲ志願シ下士官タルニ

## 適スト認メタル者

THE JOURNAL OF CLIMATE

五豫備役又ハ後備兵役ノ各兵科上等兵又ハ之ト同等級ノ者ニシテ平時部隊ニ於テ勤務シ其ノ成績優秀ナル者

下士官タルニ適スト認メタル者  
七 操縦候補生ニシテ銃術會議ニ於テ可決セラレザリシ者ノ中下士官タル

前項第三號ニ該當スル者ニシテ其ノ有スル下士官適任證書ノ種類ニ依リ  
兵科部ノ變更ヲ爲スヲ要スル者ハ之ヲ當後兵科部ニ傳シシム

第一項第四號ニ規定スル年齢ハ任官ノ年ノ十二月一日ニ於ケル年齢トス  
第八十一條 前條第一項第一號、第二號又ハ第七號ニ該當スル者ヲ以テ豫

前條第一項第七號ニ該當スル者ヲ以テ豫備役下士官ヲ補充スル場合ニ於ケル初任ノ官等ハ軍曹トス

第八十六條 憲兵敎習兵ハ歩、騎、砲、工、航  
空、輜重兵科ノ現役兵(輜重兵特務兵ヲ除)

ク)中概ネ九月以上在營シ品行方正、志操  
確實ナル者ニシテ憲兵ヲ志願シタル者ノ

中ヨリ銓衡ノ上之ヲ採用ス  
前項ニ規定スル在營ノ期間ヘ戰時又ヘ事  
變ノ祭其ノ地必要アシ場合ニ於テ、參置

大臣ノ定ムル所ニ依リ之ヲ短縮スルコト  
ヲ得

工、航空、輜重兵科ノ現役兵(輜重兵特務兵ヲ除ク)ニシテ概ネ八月  
以上在督シ縫、裝<sup>アモリ</sup>下士官ロヲ志願シタル者ノ中ヨリ銃術ノ上之ヲ  
陸軍大臣ハ前項<sup>アモリ</sup>達<sup>スル</sup>装工下士官候補者ヲ陸軍被服本廠ニ分遣ス

- 第九十四條** 動員ヲ行ヒタル部隊ニ於テハ左ニ掲タル者ヲ以テ豫備役ノ見習士官ト爲スコトヲ得
- 一 下士官ニシテ將校勤務適任證書ヲ有スル者
  - 二 各兵科若ハ練習部幹部候補生ニシテ第六十二條ノ二ノ規定ニ依ル銃衡會議ニ於テ可決セラレタル者又ハ衛生部若ハ脈醫部幹部候補生
  - 三 第一號ニ該當セザル現役下士官、兵士官又ハ現役、衆衛役若ト補充其役兵ニシテ醫師免許證又ハ藥劑師免許證及衛生士官免許證ヲ有スル者
- 四 第一號ニ該當セザル現役若ハ豫備役**
- 下士官又ハ現役、豫備役若ハ補充兵役
- 兵ニシテ獸醫師免許證ヲ有スル者
- 五 前各號ニ掲タル者ノ外獸醫師免許證**
- ヲ有スル者
- 前項第一號ニ該當スル者ノ採用ノ方法及時期ハ陸軍大臣之ヲ定ム
- 第九十八條** 軍兵科豫備役又ハ後備役ノ准士官、下士官又ハ上等兵ハ准士官又ハ下士官ニ在リテハ同等官ノ他兵科ノ准士官又ハ下士官ヲ以テ上等兵ニ在リテハ他兵科兵（輜重兵特務兵ヲ除ク）ニシテ憲兵ノ勤務ニ必要ナル學術ヲ習得シタル者ヲ以テ之ヲ補充スルコトヲ得
- 第九十九條** 豫備役又ハ後備役憲兵下士官ハ憲兵上等兵ヲ以テ之ヲ補充スルコトヲ得
- 第一百條** 豫備役又ハ後備兵役憲兵上等兵ハ憲兵上等兵タルニ適スル兵（輜重兵特務兵ヲ除ク）ヲ以テ之ヲ補充スルコトヲ得
- 第一百一條** 砲、工兵技術下士官ハ左ニ掲タル者ヲ以テ之ヲ補充スルコトヲ得
- 一 陸軍工科學生徒ニシテ概ネ一年以上同校ノ課程ヲ修業シタル者
- 二 兵器器材等ニ關スル技術ヲ習得シタル陸軍工務兵ニシテ陸軍工科學校ニ分遣セラレ概ネ六月間砲、工兵技術下士官ニ必要ナル學術ヲ習得シタル者

日本標準規格B4判(十一行全) (富井納)

**前項第二號ニ規定スル分遣ノ方法及時期ハ陸軍大臣之ヲ定ム**

- 第一百四條 第九十四條乃至第九十五條ノ二**
- ノ規定ニ依リ豫備役又ハ後備役ノ見習士官ト爲リタル者ニシテ第九十二條ノ規定ニ依ル將校ニ補充セラレザリシ者ハ召集解除ノ際見習士官ヲ免ジ其ノ現ニ曹長ノ官等ヲ有セザル者ニシテ二月以上豫備役又ハ後備役ノ見習士官ノ勤務ニ服シタル者ハ第九十四條第一項第二號又ハ第五號ニ該當スル者ヲ除クノ外其ノ所屬ノ兵科部ニ從ヒ之ヲ曹長ニ任ズ

**第一百六條** 銃衡會議ニ於テ可決シタル者（幹部候補生ヲ除ク）及第十八條第二項ニ規定スル資格ヲ具フル者ハ任官ニ至ル迄（操縱候補生ニ在リテハ修業期間ノ満ツル日迄）部隊ニ在リテ將校ノ勤務ニ服セシム

**第一百二十條** 本令中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外副團長ニ關スル規定ハ朝鮮軍司令官、臺灣軍司令官、關東軍司令官、支那駐屯軍司令官又ハ航空團長ニ、聯隊長ニ關スル規定ハ聯隊長ト同等以上ノ權アル獨立隊長ニ之ヲ適用ス

**第一百三十三條** 嘗分ノ内衛生二等兵ハ戰時又ハ事變ノ際ニ限リ概ネ二月在營シタル各兵科二等兵ヲ以テ之ヲ補充スルコトヲ得

## 附 則（昭和八年勅令第七十一號）

第一條 本令ハ昭和八年五月一日ヨリ之ヲ施行ス。

第二條 従前ノ規定ニ依リ幹部候補生ニ採用セラレタル者ノ取扱ハ仍從前ノ例ニ依ル。

第三條 當分ノ内陸軍大臣ノ指定シタル學校ヲ卒業シタル者（高等學校高等科、大學令ニ依ル大學豫科又ハ陸軍大臣ニ於テ之ト同等以上ト認メタル學校ニ在リテハ其ノ第一學年ノ課程ヲ修了シタル者ヲ含ム）ハ第五十三条第一項第三號ノ規定ニ拘ラズ特ニ之ヲ幹部候補生ニ採用スルコトヲ得。

第四條 前條ノ規定ニ依リ幹部候補生ニ採用セラレタル者ニシテ終末試験ニ合格シタル者ハ豫備役將校ニ任セラル前四月間勤務演習ニ之ヲ召集シ第六十二條ノ三ノ規定ニ依ル召集ハ之ヲ行ハズ召集中ノ階級ハ軍曹ノ階級トシ銘衡會議ハ當該勤務演習ノ終了迄ニ於テ之ヲ行フ。

前項ノ勤務演習ヲ了リ且前項ノ銘衡會議ニ於テ可決セラレタル者ハ第六十二条ノ四ノ例ニ依リ當該兵科部ノ將校ニ任セラルノ資格ヲ具フルモノトス。

第五條 本令施行ノ際現ニ一年志願兵トシテ採用セラレ入營延期中ノ者ハ

先づ現役兵トシテ入營セシメ入營後概未三月ノ後ニ於テ之ヲ本令ニ依ル幹部候補生ニ採用ス。

第六條 當分ノ内歩、騎、砲、工、航空、輜重兵科現役下士官（砲、工兵技術下士官ヲ除ク）ハ左ニ掲タル者ヲ以テ之ヲ補充スルコトヲ得。

一 下士官候補者ニシテ概未二年在營シ當該兵科下士官タルニ必要ナル學術ヲ習得シ下士官タルニ適スル者。

二 各兵科下士官適任證書ヲ有スル上等兵ニシテ歸休ヲ命セラレ又ハ現役期間滿ツル日迄在營シテ豫備役ニ入り退營後二年以内ニ現役下士官ヲ志願スル者。

日本標準規格B4判(十一行全)(富井納)

- 三 豫備役又ハ後備役ノ軍曹又ハ伍長ニシテ現役滿期後二年以内ニ現役ヲ志願スル者。
- 四 第五十九條ニ規定スル修業期間ノ修業ヲ了リタル各兵科幹部候補生ニシテ現役下士官ヲ志願シ下士官タルニ適スル者。
- 前項第四號ノ規定ニ該當スル者ニ對シテハ第六十二條ニ規定スル終末試験ハ之ヲ行ハズ。

## 附 則（昭和十二年勅令第六百五十四號）

- 第六條 當分ノ内現役憲兵上等兵ハ歩、騎、砲、工、航空、輜重兵科ノ現役兵（輜重兵特務兵ヲ除ク）中概ネ一年六月以上在營シ品行方正、志操確實ナル者ニシテ憲兵ヲ志願シ憲兵上等兵ノ勤務ニ必要ナル學術ヲ習得シタル者ノ中ヨリ之ヲ採用スルコトヲ得。
- 前項ニ規定スル學術ノ習得ニ關シテハ陸軍大臣之ヲ定ム。
- 第一項ニ規定スル在營ノ期間ハ戰時又ハ事變ノ際其ノ他必要アル場合ニ於テハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ之ヲ短縮スルコトヲ得。

內

總

務

三

12

1

中

三月二十二日

陸軍省徵募課

少

佐

日本標準規格B4判(十一行全)(富井納)

幸甚ニ奉存候

(イ) 公布ノ日

(ロ) 兩勅令ノ勅令番號

(以上)

第ニニ號

起 瞽和十三年八月六日

裁可 瞽和 年 月 日 施

決定 瞽和 十三年八月六日 行 瞽和 年 月 日

内閣總理大臣

内閣書記官長

内閣書記官

昭和十三年八月五日(ノイリ)

内閣總理大臣

陸軍大臣宛

回 答

戰時又事變ニ際シ一師團以上ノ團隊ヲ指揮スル司令官及師團長ノ親補ニ關スル件改定ノ件御内議ノ趣了承右ハ異存無之候